

今月の人

人材バンクより南国市の生涯学習に深く寄与して下さる方を紹介していきます。



久米伸一郎さん
(久礼田)
人文・社会科学

今月は、土佐弁に興味を持ち、次第にすたれる傾向にある方言を、残していこうという久米伸一郎さんを紹介します。

RKCプロダクションに所属し、テレビ、ラジオの商業番組に出演したり、イベントの司会をするなどタレントとして活躍している久米さん。仕事で昔の土佐弁を使っているうちに興味を持ったそうです。

県内各地でよく講演を頼まれるようですが、それぞれの地域で、昔から愛着のある言葉を使い、懐かしく、楽しい話に、いつも、会場のお客さんは大喜びだそうです。

「これからは方言を身体に染み込ませていきたい。若い人にもたまには方言の良さを思い出してもらえたらいいですね」という久米さん。温かみのある土佐弁を、次の世代へ伝えていって欲しいものです。

短歌

おじいさん天国如何にと孫問いて

手紙供えし敬老の日

久礼田 澤村 良

散華の紙もて作る折鶴を

日び数えては友燭り待ちわぶ

立田 北村幸江

蜂切うしハクスは蒸るる書にて

祭太鼓の間達にきこゆ

廿枝 馬橋佳代

お互いに気をつけようねと連う度に

語りし親友が事故で遠くとは

田村 中沢 節

亡妻若く顔笑む顔の今朝の夢

八十路悲しく残り火は燃ゆ

藤原 山本 茂

しぐれつつ津野山郷のたかやまに

こぼれ日さす朝虹の立つ

大浦 中田憲秀



川柳

ナクト振る妻も少うし我れ気味

廿枝 島田八重子

ぼつぼつと行こう百まで手を取りて

十市 尺村鶴一

俳句

駅三つ過ぎて津軽の林檎如

大浦 山本和子

空港や川原すゝきに舞う蜻蛉

浜改田 清洲 保

秋道路バス一団は姫路より

植野 原 忠男

北平線明かりを付けた進家船

十市 田所小夜子

アスファルト突き破りをり彼岸花

浜改田 浜田東風

投扇の袂反らせて菊人形

大浦 清洲幸枝

獅子酔へり稚児の雛にあやつられ

舟山 松木巨那

川面にて寒させまりしこのは魚

十市 北村高子

びわの花健気に咲きぬ目立たずに

緑ヶ丘 如美じゅき

共歩の延って来ない空道

里改田 福井英子

何回もけとばしてみる栗の穂

里改田 福井博子

煙突の二つ呼応す秋の暮

里改田 岡田寿子

市の統計

面積	125.11km ²
人口	48,447人 (+15)
男	23,179人 (+12)
女	25,268人 (+3)
世帯数	18,222世帯 (+19)
()内は前月比	
《平成7年10月31日現在》	

火災・救急

《火災》		《救急》	
発生件数	4件	出動回数	119回
建物	0件	急病	53回
山林	2件	交通事故	32回
その他	2件	一般事故	16回
被害額	279万円	その他	18回
《平成7年10月分》			

(威佳)



がらふと柿を想う

師走に向かう日、柿を食べな

である。

熟れきった実はポタポタと、地

面にまき散って泣いているよう

である。

物の豊富な今、柿の存在も着

薄なのか、誰も獲ってやらない

ので豊作の今年は特に枝が垂れ

熟れきった実はポタポタと、地

面にまき散って泣いているよう

である。

一番好きなのである。

物の豊富な今、柿の存在も着

薄なのか、誰も獲ってやらない

ので豊作の今年は特に枝が垂れ

熟れきった実はポタポタと、地

面にまき散って泣いているよう

である。

一番好きなのである。



まほろほ

広報は、地区連絡員さんたちのご協力で皆さまの家庭にお届けしています。